

# 井川町教育委員会 7月定例会会議録

1. 日 時 令和2年7月27日(月) 午後1時30分～2時50分

2. 場 所 農村環境改善センター

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	幡宮明貞
委員	遠藤勇人
委員	小武海文恵

4. 欠席委員

委員	齋藤正仁
----	------

5. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
事務局次長	鷺谷幸平

6. 会議

(1) 議案

議案第16号 令和3年度使用中学校教科用図書採択について

(2) 報告事項

- ①義務教育学校における社会性の伸長について
- ②教員の勤務時間状況について
- ③修学旅行アンケート結果について
- ④夏期休業中の主要事業について
- ⑤中体連等大会結果について
- ⑥「八郎湖はよみがえるかー水質改善策ー」作文・論文コンテストについて

7. 情報交換

8. 会議の経過

事務局長 今定例会の議事録署名員に齋藤委員、小武海委員を提案。  
(全員提案を了承)

教育長 議案第 16 号令和 3 年度使用中学校教科用図書採択について説明をする。(協議会において採択された令和 3 年度使用中学校教科用図書について説明)

委員 教科書の採択は県内を地区ごとに分けて、それぞれで採択が行われるのか。

教育長 広域で採択するところもあれば、秋田市など単独で採択する地区もある。最終的には各自治体の教育委員会で承認を得た上で採択される。

委員 小学校も同様か。

教育長 同様である。小学校は昨年採択が行われた。

教育長 他に質問等がなければ、この内容で採択してよろしいか。

全員 異議なし。

教育長 全会一致で承認されました。

教育長 続いて、報告事項に移る。最初に、①義務教育学校における社会性の伸長について説明をする。  
(昨年度の結果と比較すると、多くの項目において数値が上昇しており、いい傾向にある。)

委員 社会性の定義が書かれているが、非常に捉えづらい分野であると思う。具体的な質問によって社会性を図ることは大切なことである。今後も同じ質問によって数値を比較して行ってほしい。同様の規模の学校同士で交流することもいいと思うが、相手がいることなのでなかなか難しい。

教育長 次に、②教員の勤務時間状況について事務局に説明を求める。

事務局長 (1ヶ月の時間外が 80 時間を超える教員に対してヒアリングを行った。今後も続けていく。)

委員 ヒアリングについて、どのようにして行ったのか(場所、対応した人等)教えてほしい。

事務局長 場所は校長室で行った。私がヒアリングを行い、校長先生に立ち会いをしてもらった。時間外が 80 時間を超えている教員 3 名に対して一人ずつヒアリングを行った。かかった時間は 5 分～10 分程度である。

委員 ヒアリングの中で、業務を減らすのは無理だといった話が出ていたか。

事務局長 この時間外の時間が現実的な業務に係る時間であり、練習試合等でもっと時間外が多い先生もいると聞いた。

教育長 続いて、③修学旅行アンケート結果について事務局に説明を求める。

事務局長 (7月中旬に5年～8年の児童と教員へ修学旅行についてのアンケート調査を実施した。旅行の目的は児童と教員で相違がある。)

教育長 子ども達と先生達がいろいろなところへ行きたいと思っていることがわかった。

委員 アンケート調査は教育委員会が実施したのか。

教育長 そうである。

委員 割と先生達が固い印象がある。

委員 今年の修学旅行はどうなるのか。

事務局長 8月下旬に岩手県の雫石方面で計画しているようだ。

教育長 近隣の中学校では岩手県や県内で計画している。

教育長 次に、④夏期休業中の主要事業について事務局に説明を求める。

事務局長 (7月31日に男鹿体験、8月3日に日本海体験を予定している。)

教育長 続いて、⑤中体連等大会結果について事務局に説明を求める。

事務局長 (中体連等大会結果について説明)

委員 剣道はどこで練習しているのか。

事務局長 八郎潟で練習をしている。

教育長 最後に、⑥「八郎湖はよみがえるか―水質改善策―」作文・論文コンテストについて事務局に説明を求める。

事務局長 (遠藤委員、義務教育学校6年小武海夏姫さんが入賞した。)

教育長 (他に無いことを確認して定例会を終了)